

家具・建具・じゅう器小売業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故の 型	労働 者 規 模
2017	1	13～ 14	高齢者向け住宅で納品立会いに従事中、納品を手伝うために電動ベッド用のマットレスをベッドにセットするため、両手で持ち上げた際に腰を痛めた。マットレスは、シングルサイズ・長さ約2メートル・重さ約20kgの商品である。	30	921	19	50 ～ 99
2017	1	17～ 18	倉庫にて商品の整理をしていた際、120cm四方位・厚さ10cm位の板が右足の甲に倒れてきた。	22	522	4	10 ～ 29
2017	1	7～8	出勤時、店舗駐車場を店舗入口に向かい歩いていた時、道路が凍結していた為、滑り転倒する。転倒した際、頭を打つが勤務に就こうと準備中、気分が悪くなり様子を見ていたが、眩暈も発生した。	54	719	2	50 ～ 99
2017	1	11～ 12	店内マッサージ機売場で配線器具の商品チェックをしていて、作業台を配線コーナーに移動させていたところ、通路にあった配線モールに気づかず、作業台が右足に倒れ、足指二ヶ所にひびが入った。	54	379	6	—
2017	1	19～ 20	店舗園芸館裏の什器保管場所にて、暗いなか什器を探しに向かう途中、道路側から什器保管場に入る際、手前の側溝に蓋が無いことに気付かず側溝にはまって右足首を捻ってしまう。	54	417	2	100 ～ 299
2017	2	19～20	店舗内2階のバックルームにて商品の品出し作業に従事していた。脚立を使用しプラスチックの収納商品（10.8kg）を降ろす際、背筋が伸びた状態で商品を持ったことで腰に激痛が走った。	54	611	19	50 ～ 99

2017	3	16~17	店内の作業台で、スペースボードの上に定規を添えて左手で定規を押さえ、右手にカッターナイフを持ってボードを切っている最中に力を入れ過ぎてしまい、定規からナイフが外れ左手の中指の爪と皮膚を5ミリ位切って負傷した。	22	364	8	1~ 9
2017	3	18~19	屋外売場で、高所に陳列している商品（台車）を取るようにお客様から依頼され、脚立（150cm程度）の一番上に乗って商品を取り、降りようとしたときにバランスを崩し、右足のかかとから床に落ちて倒れた。	64	371	1	100 ~ 299
2017	3	10~11	当社作業場にて、ガラス（122×168）が30枚ほど立てかけてある保管用の木枠のケースから運搬用の鉄枠パレットにガラス3枚をクレーンで移動させようとした際、クレーンでガラスを持ち上げたところ、残りのガラスがバランスを崩し手前に倒れてきたため後ろにさがったが、後ろにあった鉄枠にぶつかり倒れてきたガラスと鉄枠に左足首がはさまり負傷した。同僚にガラスを動かしてもらい救急搬送された。	57	529	5	1~ 9
2017	4	20~ 21	退勤後、自家用車で帰宅するため店舗の駐車場（会社敷地内）を歩行中、暗くて足元が見えにくかったため、コンクリートの車止めに躓いて転倒し、左手をついた際に手首を骨折した。	53	417	2	100 ~ 299
2017	4	10~ 11	物置を配達するため、トラックに乗って行き、現場で降りたとき、まだ左手がトラックのドア内側取っ手にかかっていたが、強風で、ドアがあおられ、その重みで左手薬指を負傷した。	33	231	7	1~ 9
2017	4	15~ 16	店舗内1階バックルームにて、寝具の品出し作業中、品出し用のショッピングカードに品出しする商品を準備する際、定位置になくたたんだ状態で仮置きされている長さ210cmの脚立にカートが接触し、脚立が倒れてきて被災者の頭と肩に当たった。	66	371	5	100 ~ 299
2017	5	16~ 17	店舗の金庫室で入金作業中、床にお金をこぼしてしまい、拾おうとした際に体のバランスを崩して転倒しそうになり、その時に右肘を捻ってしまった。当初は捻挫と診断され、休業せず勤務していた	30	379	19	50 ~

			が、症状が改善せず、後日に内側半月板後節部断裂と判明した。				99
2017	6	10～ 11	次にガスの開閉栓業務を行う顧客先へ向かうため、路上をバイクにて走行中、前方の信号が赤になったので、ブレーキを掛けながらマンホール上を通過した際、降雨により当該マンホールが滑り易くなっていたため、スリップして転倒し負傷した。	33	362	2	100 ～ 299
2017	6	15～ 16	3階の駐車場からショッピングカートを回収する作業に従事していた。ショッピングカート4台を両手で支えながら移動し、3階共有部に入ったところで、ショッピングカートを持ったお客様が別のお客様を避けるために急に方向転換をした際、左足小指がお客様の押すショッピングカートのタイヤに踏まれた状況となった。	62	362	7	50 ～ 99
2017	6	18～ 19	被災者が従業員3名体制で鉄筋300本の積み込み作業をしていたところ、気持ちが焦って一度に沢山の量を積もうとした為、誤って30本束を左足の上に落としてしまい、左足甲の人差し指付け根付近を骨折したものである。	18	611	1	30 ～ 49
2017	7	16～17	店舗外売場にて、園芸コーナーの柵が10束入ったプランター（65cm、水1/3重量3kg程度）の水替え作業中、中腰にてプランターを持ち上げた瞬間、腰に痛みが走りそのまま動けなくなる。5分程痛みが強くゆっくりと支えられて移動。	27	921	19	30 ～ 49
2017	9	16～ 17	お客様宅への商品配達先にて、重さ120kg位、大きさ120×160の座卓の預かり品を搬出する際に、腰を痛めた。	39	921	19	1～ 9
2017	9	16～ 17	お客様宅において、夕方に給湯器の取り付け工事で、鉄板の穴空け作業中にドリルで負傷、穴空け材料（鉄板）の固定が不十分であった為、手元が不安定になったと考えられる。その結果、鉄板を押さえていた左手中指をドリルで切った。	64	364	8	1～ 9
2017	9	11～ 12	店舗内倉庫ペット用品置き場において、品出し作業を実施、箱が4段積みされた高さ（約180cm）より、箱（約5kg）を取り、台車に乗せようとした際に腰に負荷がかかり痛み、負傷した。	51	611	19	100 ～ 299

2017	10	12～ 13	ベッド売場を移動中、コードに躓き転倒。右膝を強打した。	57	417	2	30 ～ 49
2017	10	15～ 16	会社駐車場で（会社用）タオル等の洗濯物を取り込んでいる際、つまずいて2回転倒し右手を骨折した。	57	416	2	1～ 9
2017	10	18～ 19	売り場にて品出し作業中、脚立に乗り天板上の商品（コタツ布団）を下ろそうとしたところ、バランスを崩し不自然な体勢で腰を捻ってしまった。腰椎捻挫。	20	371	19	50 ～ 99
2017	11	9～ 10	3FからM2Fの階段で、朝礼のため慌てて駆け下りていて、2段位踏み外して右足首を捻って転倒した。	52	413	1	50 ～ 99
2017	12	10～11	自社作業場でガラス補修の為、ガラス厚5%、1,700×1,300位のガラス切断時、右親指を切り、ガラス破片が入ってしまった。	59	529	8	1～ 9
2017	12	12～13	サービスセンター移転に伴う業務応援のため、当社サービスセンターで庫内整理作業をしていた際、既存のスチールラックを建物内移設の為に一部を解体し運搬した。その後、所定の場所にて、組立作業を行っていたとき、ラック2段目の軸組鉄骨に20mm厚の合板を敷き詰めている際に足を滑らせ、敷設途中の合板に足を着くも、固定されておらず、踏み抜き転倒した。転倒の際に鉄骨軸に右胸部を強打し、付近にあった敷設済み合板上に倒れ込み、蹲り動けない状態の為、救急車を呼び病院へ搬送された。	39	391	1	10 ～ 29
2017	12	10～11	会社店舗1階西側において、3mの高さにある120cmの蛍光灯を替えようと、梯子を登ったところ、約1.5mの高さより足から転落し、背骨を圧迫骨折した。	80	371	1	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html

